

『スノーシーズン間近』 冬期における安全運行特集

降雪時・積雪時における事故防止のポイント

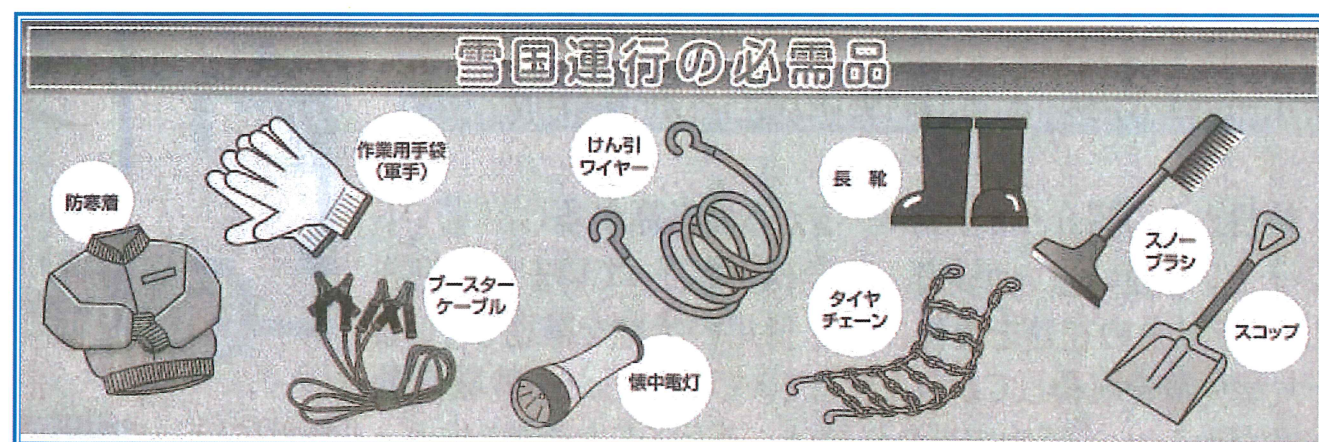
大雪による交通事故やスリップ、立ち往生などが発生した場合、周辺道路の大渋滞を招き、迂回路のない地域では大混乱を来します。降雪地域を運行するトラックドライバーの皆さんには、この時期にふさわしい雪道対策が求められます。

そこでここでは、これからやって来る冬に向けて、降雪時・積雪時における事故防止のポイントについて紹介します。

①出発前の準備

- ・降雪地域を運行するときは、交通規制や事故などにより渋滞が予測されますから、早めの給油を心がけましょう。
- ・出発前には、運行地域の気象や道路の情報を収集し、降雪や積雪が予想されるときは、車両点検時にタイヤチェーンや携行品などもしっかり確認しておきましょう（図1）。

図1 降雪地域走行時の必需品



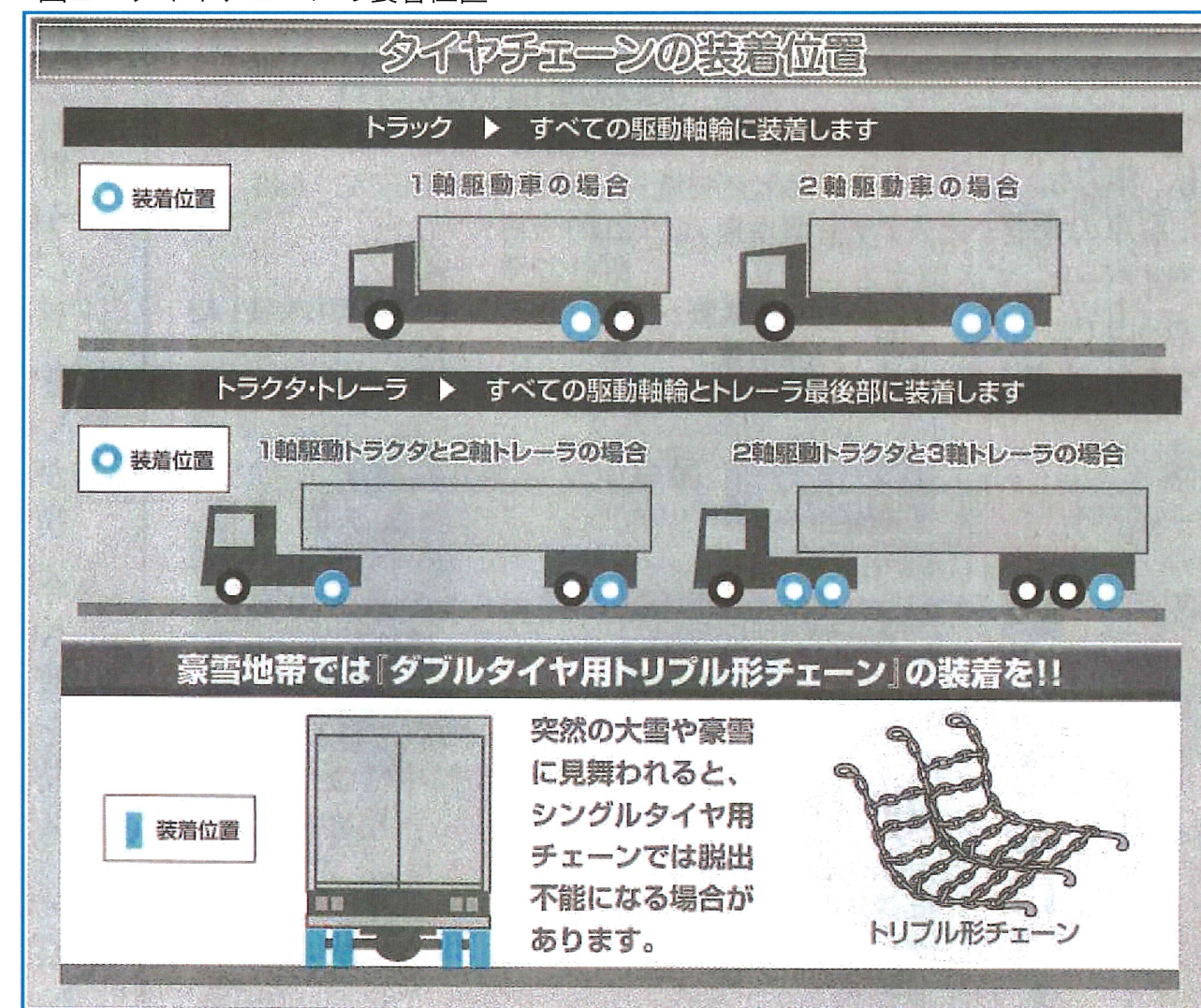
②走行時の注意

- ・スタッドレスタイヤなどの冬用タイヤを装着していても、過信は禁物です。雪道は滑る道ですから、速度を落とすとともに車間距離も十分にとりましょう。
- ・交差点に接近するときは信号をよく確認し、赤信号や黄信号の場合は早めに減速して、交差点手前で余裕をもって停止できるようにしましょう。
- ・地吹雪で前方が見えないときは決して無理をせず、すぐに安全な場所に避難して様子を見ましょう。
- ・雪がない場合でも路面が凍結していることがあります。とくに早朝の時間帯や、橋の上やトンネルの出入口など凍結しやすい場所では減速しましょう。
- ・雪道のカーブや下り坂はスリップしやすいので、速度に注意して慎重な運転操作を心がけましょう。
- ・雪道では歩行者や自転車もスリップして転倒することがよくあります。側方を通過するときは、速度を落とし側方間隔を十分にとりましょう。
- ・チェーン装着の指示が出された場合などタイヤチェーン装着が必要になったときは、早めに装着しましょう。

③タイヤチェーンの準備と装着

降雪に見舞われたときや積雪した路面では、安全な場所で早めにタイヤチェーンを装着する必要があります。（図2）。

図2 タイヤチェーンの装着位置



タイヤチェーンを装着するときは、チェーンの緩みやゴムバンドのフックへの掛け忘れなど（チェーンの脱落、チェーンの摩耗・損傷の原因になる）に注意しましょう。
なお、確実なチェーンの装着を行うために、事前に装着練習をしておきましょう。

④けん引ロープの使い方

雪道でうっかり路肩に寄り過ぎてスタックしてしまった場合、周りに他のトラックがいるようであれば、けん引ロープ（ワイヤー）で引っ張ってもらうことで脱出することができます。大型トラックには、車両の前後に「けん引フック」を備えています。「フロント・けん引フック」は、カバーで覆われ、通常の状態では見えない場合がありますのでカバーを取り外して使用しましょう。

（全日本トラック協会「事業用トラックドライバー研修テキスト」）

編集後記

既に11月末に降雪がありましたが、弊社は従来通り飯塚専務がスタッドレスタイヤの交換スケジュールを組んでいました。随時行いますので交換が済んだ方はきちんと飯塚専務にお礼を言って下さいネ！

代表
黒澤美恵子

